

11

◇タイトル◇

「土中処理を容易にする ごみ処理用穴蓋」

アイデア提供者 友永 文昭さん



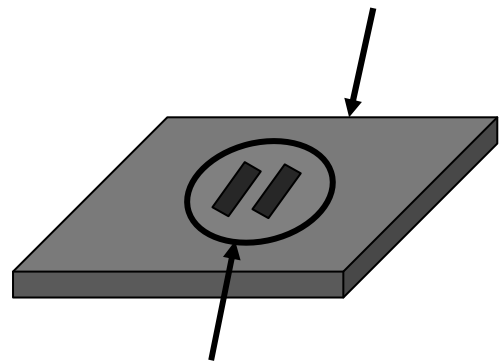
アイデア

地面に掘った穴に右記の図のようなマンホール状の蓋をのせて生ごみ処理を行う。通常の生ごみは土中の細菌やミミズ等により速やかに分解される。蓋を置くことで、毎回埋め戻す必要や悪臭の心配が無く連続使用ができる。

台所の生ごみ等は水切り無しでバケツのようなもので回収し、右図の小蓋から全部投入する。米のとぎ汁やビールの残り等の液状物もそのまま投入できる。これにより、水切りも必要は無く、生ごみの減量だけでなく下水処理の負荷低減にもなる。

平板形状で地面と同一面にして設置でき、この上を踏んで歩くことも可能なため、これまでのコンポスターのように邪魔にならず勝手口近く等に設置可能で野外のごみ箱に捨てに行くのと手間は同等となる。数千個程度作成すれば、1個2,000円程度で市販できると思われるので、費用負担についてはごみの減少、含水率の低下による焼却処理コスト低減等で十分相殺可能。

地面に掘った
穴を覆う本体



ごみ投入用の
小蓋



蓋を開けてごみを
埋める

メリット

直接土に埋めることで、ごみにならない。